

加速器総合技術インターンシップの構築

概要

高エネルギー加速器研究機構(KEK)と筑波大学が連携して、加速器技術の継承と人材育成を目的としたインターンシップ拠点を構築することを目指す。対象は加速器科学と技術に関連する大学等の学生、教員及び技術職員、企業技術者であり、海外も視野に入れる。KEKでは小型加速器の制作、運転を特徴とした取組みを試行し、筑波大学ではイオン加速器による技術実習を試行して、KEK-筑波大学連携による加速器総合技術インターンシップ拠点形成の可能性を探る。

背景と目的

KEKと筑波大学が連携して、加速器技術の継承と産業界・若手人材育成を目的としたインターンシップ拠点を構築することを目指す。

加速器技術の教育・人材育成ニーズの高まり

加速器技術の独立した拠点がつくばの極々近隣に存在



加速器技術のインターンシップの新たな拠点を構築（6 km内）。
加速器技術やその応用技術を「つくばという一地点」で総合的に習得可能。



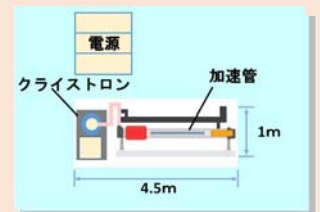
(KEK大型加速器施設)



(筑波大学イオン加速器施設)

実施内容(予定)

- ① KEKにおける加速器技術の人材育成、インターンシップの可能性調査：教育用の小型加速器の制作・運転を骨子とした教育プログラムを新たに追加。その第一段階として基本形の小型加速器を試作し、実習を試行する。
- ② 筑波大学における加速器技術の人材育成、インターンシップの可能性調査：小型イオン加速器により、加速器実習教育プログラムの作成をおこなう。筑波大の教育プログラムを活用して、加速器研究開発に携わる研究者、技術者、学生のインターンシップ制度の構築についてその可能性を調査する。
- ③ KEK-筑波大学連携教育プログラムのインパクト確認、課題の抽出：筑波大とKEKが連携して加速器を用いた実習体制を構築して、連携教育プログラムとしての可能性、受講生へのインパクト、課題を抽出、整理する。



(KEK小型加速器の試作と実習)



(筑波大学イオン加速器施設での実習)

調査研究終了後の予定と将来像

- KEK、筑波大学での個々の教育プログラム制度確定と、KEK-筑波大学連携のインターンシップ教育プログラムの確立。
- インターンシップ拠点高度化と連携拡大、教育用小型加速器の高PHASE化。（これらに向けた資金の獲得）